

2012年度第1回中等教育機関日本語教師研修会 学生のやる気を引き出す動機理論

池畑裕介（文化大学推广部専任教師）

日付 2012年12月22日（土）

池畑裕介

＜学歴＞

国立師範大学教育学博士課程在学中
文化大学日本研究所修士
明治大学経済学部卒

＜略歴＞

現中國文化大學推廣部專任講師
光隆家商日本語兼任講師
育達高職日本語兼任講師
德霖技術學院兼任講師

＜著作＞

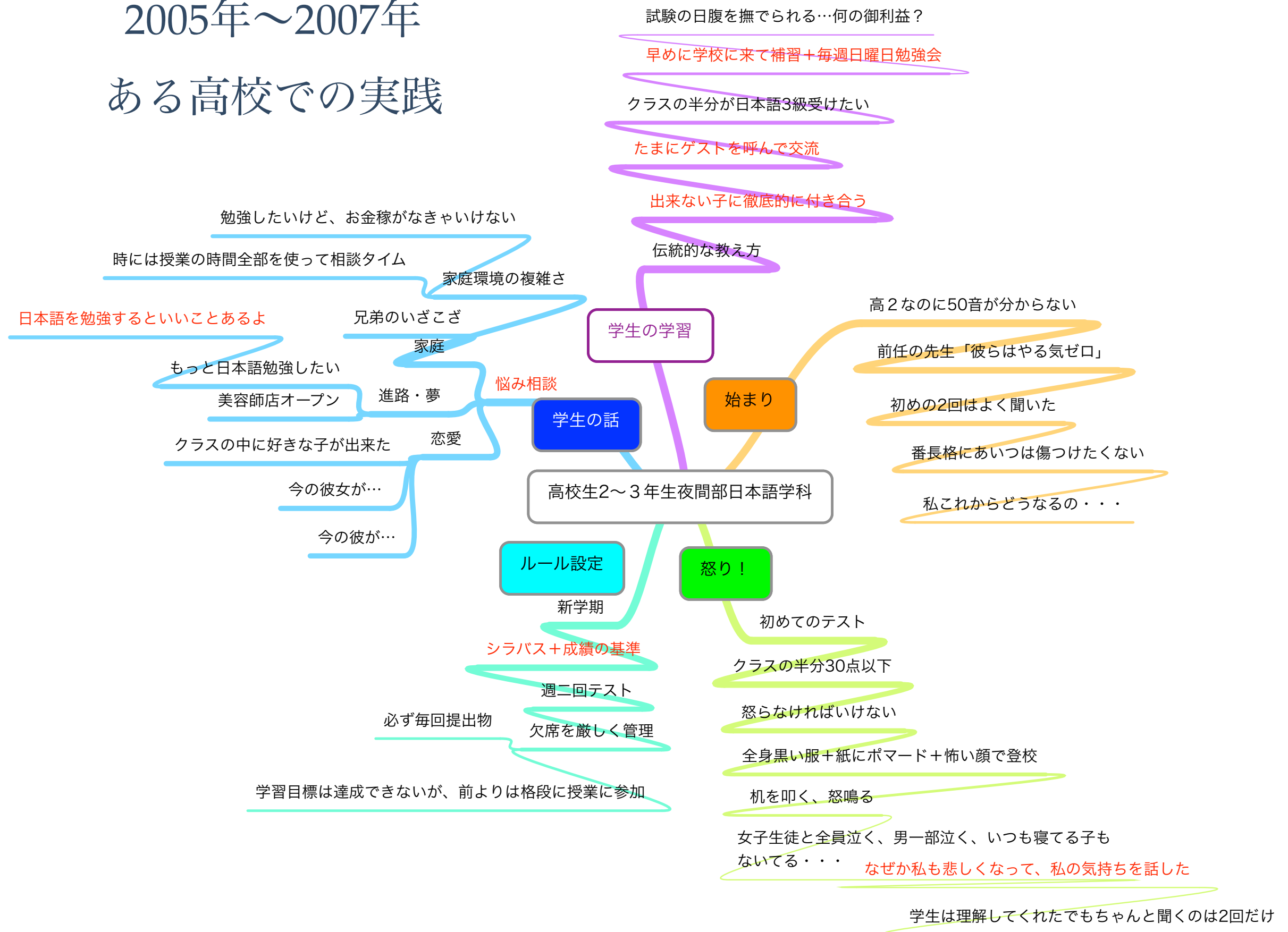
電玩日語通
好學日本語 1・2
日語聽講練s習I・日文閱讀與翻譯I
日語50音速成班



＜趣味＞

旅行・グルメ・占い・ゲーム・漫画・アニメ
子供と遊ぶこと

2005年～2007年 ある高校での実践



2006～2007年を理論的に分析 1

悲しくなって自分の思いを吐露：自己開示をし、教師の人間性を見せる

シラバス＋成績基準の開示：集団結成の始めに規範をはっきり作る

許容基準を作り、生徒の同意を求める

悩み相談：個人的な興味の共有

どんなことにでも相談にのる

生徒の一人一人を気にかけて彼らの話に耳を傾ける

気軽にどこでも教師と常に接触出来る事をつたえる

2006～2007年を理論的に分析 2

日本語勉強するといいいことあるよ：世界におけるL2の役割を
絶えず指摘し、生徒自身にとってもまた彼らの社会にとっても、
それがきつと役に立つことを示す

出来ない子に徹底的に付き合う、早めの補習、日曜補習：生徒に教師が
彼らの進歩を常に気にかけていることを示す

たまにゲストを呼ぶ：教室内での活動の単調さを打破するため、
学習タスクやその他の指導にできる限り変化を持たせる
指導内容を生徒の生活と結びつける

動機付けを高めるモチベーションストラ テジー35

Zoltán Dörnyei

＜動機付けのための基礎的な環境を作り出すストラテジー＞

- (1) 扱う教材に対する自分の熱意と、それが自分に個人的にどんな影響を及ぼしているかについて、実例を挙げて説明し解説する。
- (2) 生徒の学習を真剣に受けとめる。
- (3) 生徒と個人的な関係を築く。
- (4) 生徒の親たちと協力関係を築く。
- (5) 教室に楽しく、支持的な雰囲気を作る
- (6) 集団の結束強化を促進する。
- (7) はっきりとした形で集団規範を作成して、生徒たちと話し合い、彼らに認めてもらう。
- (8) 集団規範をしっかりと守らせるようにする。

＜学習開始時の動機付けを喚起するストラテジー＞

- (9) 仲間のお手本を見せることで、言語に関連する価値観を高める。
- (10) L2 学習過程に対する学習者の内在的な関心を高める。
- (11) L2 とその使用者、また外国らしさ全般に対する肯定的な開放的な気質を育てることで、「統合的」価値観を高める。
- (12) L2 の知識と結びついた道具的価値観に対する生徒の理解を高める。
- (13) 特定の課題および学習全般に関する生徒の成功期待感を高める。
- (14) 生徒の目標志向性を、彼らが認める教室目標を明確に定めることで高める。
- (15) 教育課程と教材を、学習者に関連の深いものにする。
- (16) 現実的な学習者信念を作る手助けをする

＜動機づけを維持し保護するストラテジー＞

- (17) 教室内での活動の単調さを打破することによって、学習をより興味深く楽しいものにする。
- (18) タスクの魅力を増すことにより、学習を学習者にとって興味深く楽しいものにする。
- (19) 学習者をタスクへの積極的な参加者となるように求めることにより、学習を興味深く楽しいものにする。
- (20) 動機づけを高める方法でタスクを提示し、実施する。
- (21) 教室で目標設定の手法を用いる。
- (22) 生徒の目標に向けた情熱を形式化するために、生徒との契約手法を用いる。
- (23) 学習者に定期的な成功経験を与える。
- (24) 定期的に励ましを与えることにより、学習者の自信を育む。
- (25) 学習環境において不安を誘発する要素を取り除き、あるいは緩和することによって、言語不安を軽減することを支援する。
- (26) 学習者に多様な学習ストラテジーを教えることにより、自己の学習能力に対する自信を構築する。
- (27) 学習者が学習課題に取り組んでいる時に、肯定的な社会的心象を保持することを可能にする。
- (28) 学習者間の協力を促進することにより、生徒の動機づけを高める。
- (29) 学習者自律性を積極的に促進することにより、生徒の動機づけを強化する。
- (30) 学習者の自己動機づけ能力を強化する。

＜肯定的な自己評価を促進するストラテジー＞

- (31) 学習者の中に努力帰属を高める。
- (32) 肯定的情報フィードバックを学習者に与える。
- (33) 学習者の満足感を高める。
- (34) 動機づけを高めるように報酬を与える。
- (35) 動機づけを高める方法で評点を用いる。評点の持つ動機づけを失わせる衝撃をできる限り少なくする。

教師と学生の間

心の声...

成績を上げなければ
面子
最近の子どもは...

先生： どうして宿題しないの、宿題しなさい！

学生： はいはい

眠い、先生に興味ない
私は忙しい
第二外国なのに何で一生懸命やるの？

心の声...

やる気がある、やる気がない？

とてもやる気
がある状態

やる気がない状態

やる気~~がある~~状態

無動機状態

動機付け状態

親に怒られるから
勉強をする

恥をかきたくない
から勉強する

自分にとって重要だ
から勉強をする

動機付けの理論 (自己決定理論 Self-Determination Theory) の生みの親



ロチェスター大学大学院教授

Deci & Ryan

自己決定理論 Self-Determination Theory

自己決定の段階性 (Ryan & Deci, 2000; Deci & Ryan, 2002; 櫻井, 2009 から)

行動	他律的 ←—————→ 自律的					
動機づけ	無動機づけ	外発的動機づけ				内発的動機づけ
自己調整 (内在化)	なし	外的調整	取り入れ的 調整	同一化的 調整	統合的調整	内発的調整
自己調整に関 する事項	・ 非意図的 ・ 有能感の欠如 ・ 統制感の欠如	・ 従順 ・ 外的な報酬 や罰	・ 自我関与	・ 個人的な重 要性 ・ 感じられた 価値	・ 気づき ・ 自己との統合	・ 興味・関心 ・ 楽しさ
感じられた因 果の位置	非自己的	外的	外的寄り	内的寄り	内的	内的
学習行動の理 由例	やりたいとは思わない	「人から言わ れるから仕方 なく」 「やらないと 叱られるか ら」	「やらなけれ ばならないか ら」 「不安だから」 「恥をかきた くないから」	「自分にとっ て重要だか ら」 「将来のため に必要だか ら」	「やりたいと 思うから」 「学ぶことが 自分の価値観 と一致してい るから」	「面白いから」 「楽しいから」 「興味がある から」 「好きだから」

外発的・内発的動機

外発的動機：地位・名誉・金銭・賞・賞讃・罰など自分の外部から
与えられる「外的報酬」に基づく動機

内発的動機：自己決定感・自己有能感・知的好奇心・人間的共感・
重要な他者からの受容感など自分の内部に感じる
「内的報酬」に基づく自発的・自立的な動機

例) 先生に褒められるから勉強をする

親に叱られるから勉強をする

良い点を取ったときの充実感が好き

知らないことを知るのが好き

自己決定理論 Self-Determination Theory

自己決定の段階性 (Ryan & Deci, 2000; Deci & Ryan, 2002; 櫻井, 2009 から)

行動	他律的 ←————→ 自律的					
動機づけ	無動機づけ	外発的動機づけ				内発的動機づけ
自己調整 (内在化)	なし	外的調整	取り入れ的 調整	同一化的 調整	統合的調整	内発的調整
自己調整に関 する事項	・ 非意図的 ・ 有能感の欠如 ・ 統制感の欠如	・ 従順 ・ 外的な報酬 や罰	・ 自我関与	・ 個人的な重 要性 ・ 感じられた 価値	・ 気づき ・ 自己との統合	・ 興味・ 関心 ・ 楽しさ
感じられた因 果の位置	非自己的	外的	外的寄り	内的寄り	内的	内的
学習行動の理 由例	やりたいとは思わない	「人から言わ れるから仕方 なく」 「やらないと 叱られるか ら」	「やらなけれ ばならないか ら」 「不安だから」 「恥をかきた くないから」	「自分にとっ て重要だか ら」 「将来のため に必要だか ら」	「やりたいと 思うから」 「学ぶことが 自分の価値観 と一致してい るから」	「面白いから」 「楽しいから」 「興味がある から」 「好きだから」

自己決定の強さで動機を4つに分類

外的調整：

本人が勉強しようと思ってないけど、周りがうるさいから勉強する

例) 勉強しないと親に叱られるから勉強する

取り入れ的調整：

一応自分で勉強しようと思ったけど、仕方なくやる

また好きな先生が言ってるから、仕方なくやる

例) 友達と比べて恥をかきたくないから勉強する

同一化的調整：

積極的に自分で決めて勉強しているけど、それ自体は目的ではなく手段としてやる

例) いい大学に入ると、いい仕事につきやすいと思うので勉強する

統合的調整：

本当に好きだから勉強する 例) 学ぶこと自体が楽しい

自己決定理論 Self-Determination Theory

自己決定の段階性（Ryan & Deci, 2000; Deci & Ryan, 2002；櫻井, 2009 から）

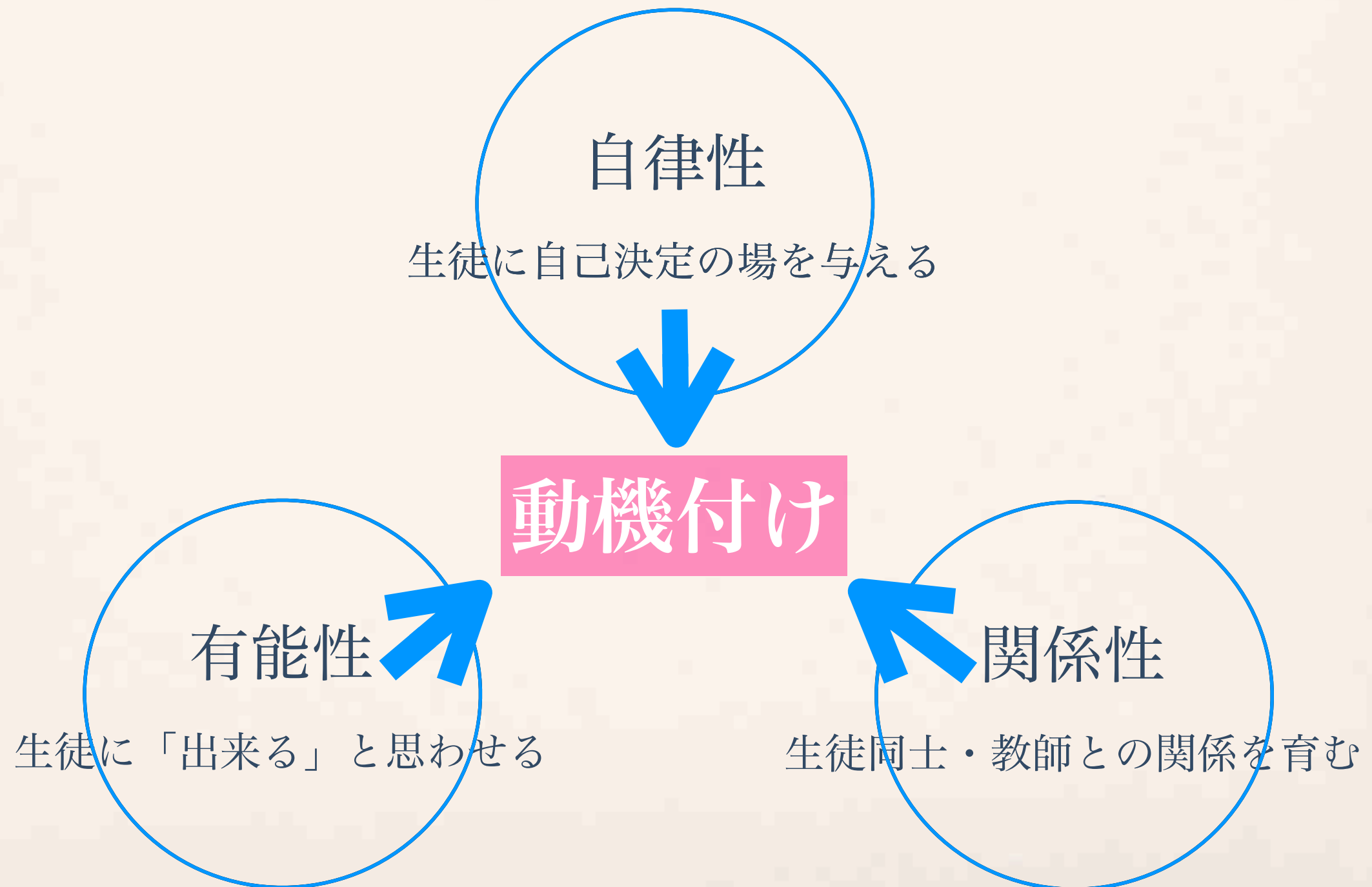
	行動 ← 他律的 → 自律的					
動機づけ	無動機づけ		外発的動機づけ			内発的動機づけ
自己調整 (内在化)	なし	外的調整	取り入れ的調整	同一化的調整	統合的調整	内発的調整

ではどのようにして動機を高めればいいんですか？

感じられた因果の位置	非自覚的	価値				
		外的	外的寄り	内的寄り	内的	内的
学習行動の理由例	やりたいとは思わない	「人から言われるから仕方なく」 「やらないと叱られるから」	「やらなければならないから」 「不安だから」 「恥をかきたくないから」	「自分にとって重要だから」 「将来のために必要だから」	「やりたいと思うから」 「学ぶことが自分の価値観と一致しているから」	「面白いから」 「楽しいから」 「興味があるから」 「好きだから」

自己決定理論 Self-Determination Theory

の三つの柱



自律性を高める具体的方策

基本的な考え方

生徒に多くの選択肢を与え、
その中から自分で選ばせるようにし自律性を高めていく

具体的例

- ・ 思考場面や観察場面で、考えたり、見たりする視点を示す
- ・ 生徒自身が、学習課題や学習方法、学習形態などを選択できるようにする
- ・ 生徒自身が、自分の考えをみんなの前で発表する場を設ける

多人数クラス、時間的制限、第二言語学習という観点から
出来るものと出来ないものがある

自律性を高める具体的方策

生徒の考えや学習上の問題などが分かるような意見交換をする

- 1, 授業の終わりに学習を振り返る時間を作る
- 2, 生徒に自分の自己決定を振り返らせ妥当かどうかを認識させる
- 3, 教師はフィードバックを行い、生徒の悩みを聞き、学習のアドバイスをする

具体的例

- ・ 授業後の簡単なフィードバック
- ・ 必ず毎回提出物

授業後のフィードバック

★ 自己評価(今日の自己評価) 2012年12月5日

自分の発表はうまく出来ましたか? A・B・C

何が上手に出来ませんでしたか? 自信がなくて、何を言おうか迷った 自信がないとき 何を言おうか迷った

誰の発表が一番上手でしたか? トリス さん いい

上の人は何が上手でしたか? 自信があって、話のペースが大きい

だんだん話のペースが自然になってきた。

自信がないとき、何を言おうか迷った。その自信がないとき、何を言おうか迷った。
今日勉強した新しい言葉を書いてみましょう。必ず6個以上書いてください。

(人 AVR)

(キャリ ア)

(い お り 打 睡)

(ラ テ リ ン グ)

(い り テ 香 草)

(防)

その自信がないとき、何を言おうか迷った。
口に出してみましょう。
そうすると、話す
世界が広がります。

必ず毎回提出物のすすめ

- ・授業の最後にペアで先生と口頭発表
- ・その日に書いたものを提出、単語、文法、会話...

今日学習した証拠を見せなさい

ルールの設定&提示

→ルールの定着と同時に動機を高める活動

有能性を高める具体的方策

生徒が興味関心を持ち、主体的に学ぼうとするように、資料や教材（副教材）を工夫する

- 1, 身近なことからや日常生活と結びつけるようなもの（家庭、学校、地域、趣味）
- 2, 既存の体験や知識に対して、ゆさぶりをかける（意外性）

具体的例

- ・導入を興味深いものにする

「あります」「います」例



「あります」「います」例



東京海洋大学客員准教授 お魚らいふ・コーディネーター

さかなクン

Webナショナル interview

—ギョー会で楽しむお魚の世界

「ギョギョ!」っとおなじみ、さかなクン。豊富な知識と体験で、お魚の世界をわかりやすく解説してくれる
"お魚博士" に聞いた海とお魚のいま——。

Photographs by Yoshitomo Tanaka

有能性を高める具体的方策

タスクの魅力を増すことにより、学習を学習者によって興味深く楽しいものにする

1, タスクを挑戦的なものにする

2, タスクの内容を生徒の自然な興味に合わせ、もしくは目新しく、興味深く、エキゾチックで、ユーモラスで、競争的で、空想的な要素を取り入れることにより、より魅力的な物にする

具体的例

- ・文末単語当てクイズ
- ・ペアワーク・グループワークのすすめ
- ・日本人ゲストを招く

文末単語当てクイズ

具体的方法

- 1、覚えたかなと言うところで前に出て来て単語カードのカルタをさせる。
- 2、そのとき、文章を読み（または読ませ）、文章の最後が必ず該当単語になるようなスクリプトを読む。そしてカルタ取り。

例）桜はきれいです

- 3、点数が高いチームに景品をあげる。



「目指せ英語授業の達人！シリーズ」
明治図書出版



「わくわく授業」
NHKエンタープライズ

交流形クラス

2012年10月

5回実践



日本人5人

台湾人10人

毎回日1人台2人の3人チーム

タスクをチームで話し合いにより解決

日本人は中国語学習の留学生

関係性を高める具体的方策

生徒と個人的な関係を築く

- 1, 教師が生徒達を受容し、または気にかけていることをはっきり示す
- 2, 生徒の一人一人を気につけ、また彼らの話に耳を傾ける
- 3, 教師の人間性を出す

具体的例

- ・出席の時に名前を呼び、目を合わせるようにする（出来ればその時にひとこと）
 - ・どんなことでもよいのでなるべく声をかけるようにする（髪型、表情、等）
 - ・生徒の学習以外のことにも注意を向ける（趣味、等）
- ・教師の語学学習や日本についての経験を話す（体験談、失敗談、悩んだこと、等）
 - ・自分の思いを伝える

関係性を高める具体的方策

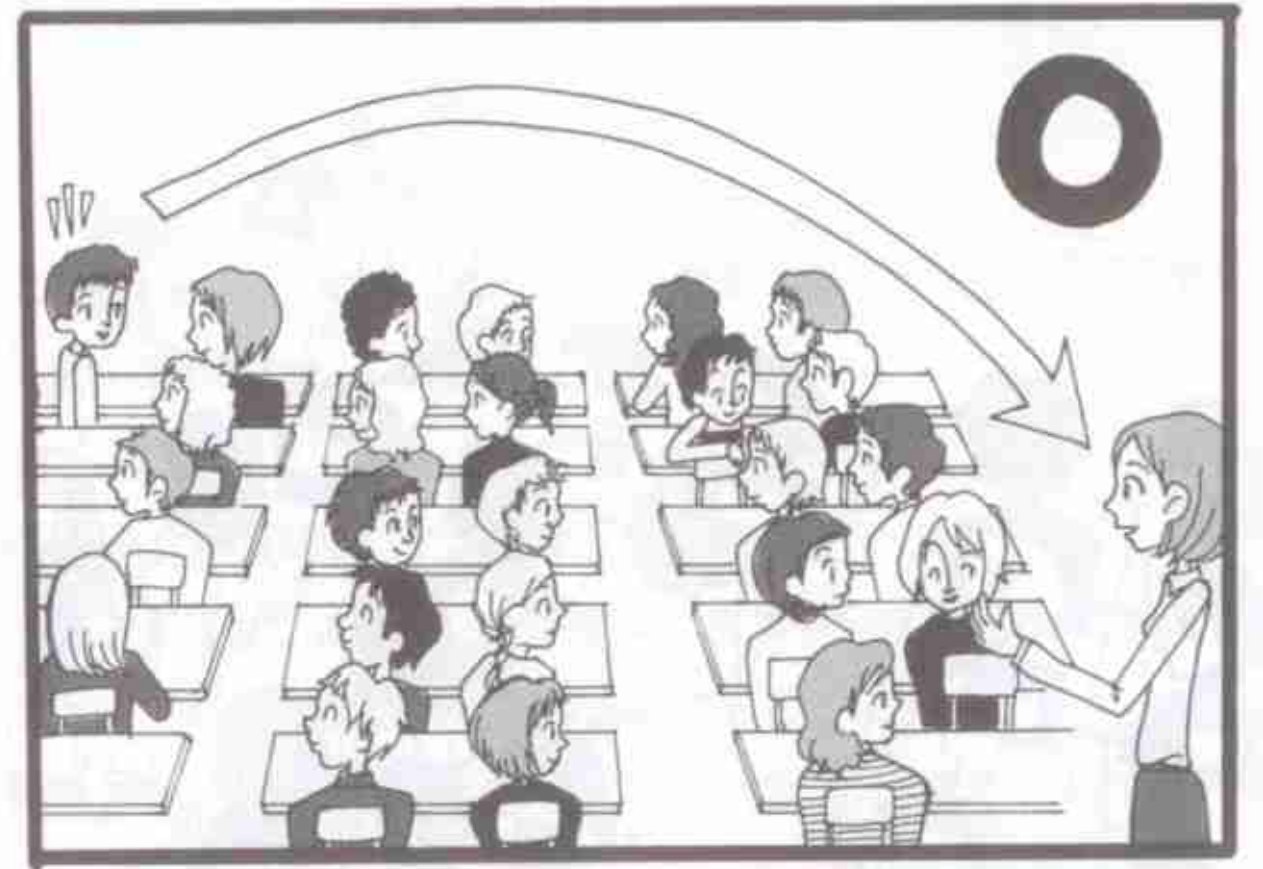
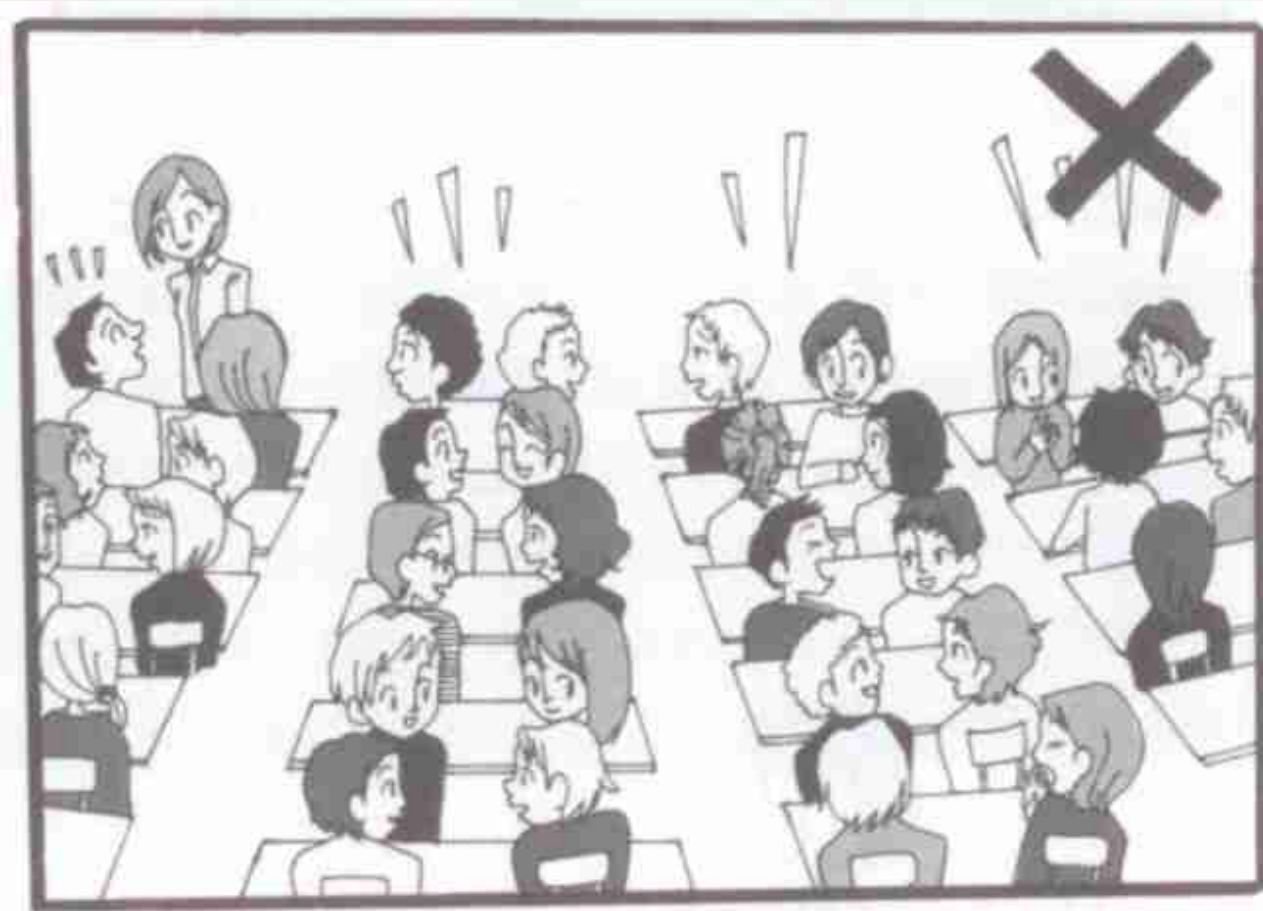
教室に楽しく支援的な雰囲気を作る

- 1, 許容基準をしっかりと決める
- 2, 間違いを恐れずにやることを勧め、間違いは学習の自然な一部であると思わせる
- 3, ユーモアを取り入れ、また進める
- 4, 生徒の好みに応じて、教室環境を生徒の考えるように整備することを勧める

具体的例

- ・ 間違った答えを笑わない
- ・ 生徒の発言を繋げる
- ・ 生徒とユーモアを共有する
- ・ 生徒を巻き込む話し方をする

生徒を巻き込む話し方



日本語教師ガイドブック下巻 p220、221より

関係性を高める具体的方策

定期的な励ましを与えることにより、学習者の自信を育む

- 1, 学習者の注意を彼らの長所と能力に向けさせる
- 2, 教師が、生徒の学ぶ努力や課題を完結する能力を信じる、そしてそれを伝える

具体的例

- ・ 生徒観察
- ・ 他の先生と生徒の情報を共有する
- ・ 目で訴える
- ・ 褒め方（フィードバックの方法）に注意する
 - ・ よい姿を褒め、好ましくない姿は正す

いい褒め方 悪い褒め方 (フィードバックの方法)

いい

- ・「何がよかった」「どこがよかった」「どこが悪かった」を具体的に示す
 - ・小さな進歩でも褒める
- ・照れずに素直によかったと思うところを心から褒める→普段からの観察が重要

悪い

- ・失敗の後に哀れみを伝える
- ・簡単な課題に成功した後で賞讃の言葉をかける
 - ・頼まれていないのに与える援助、
特に答えをすぐに与えるといった「余計なお節介」をする

先生方の経験・ご意見をお聞かせ下さい

Q1

学習の無気力状態の例を紹介してください。

また、どのように対処しましたか？



Q2

学生が全然教師の話を聞かない。
先生方はどう対処しますか？



学生が全然言うこと聞かないの・・・！

学生が教師の話を聞かない...

1, 教師の人間的な魅力

尊敬や信頼できる、あこがれる、好意や親近感が持てる、受け入れてくれる

2, 教師の専門性の魅力

教え方のうまさ、熱心さ、指導力がある

3, 罰・強制性

教師の指示に従わないと罰せられる、成績に影響する

4, 教師の性格

明るさ、楽しくなる（場合によっては容姿も）

これら4つが乏しい場合、学生は教師の話を聞かない（早稲田大学教育学部教授：河村茂雄）

最後に私の一番好きな中国語は

「教學相長」

です。

よりよい日本語教授のために

一緒に頑張りましょう！

ご清聴ありがとうございました！

メリークリスマス！

